



2020年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年9月13日

上場会社名 株式会社フィット 上場取引所 東
 コード番号 1436 URL http://www.fit-group.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴江 崇文
 問合せ先責任者 (役職名) マネジメント事業部長 (氏名) 柳橋 健一 (TEL) 03(5778)9436
 四半期報告書提出予定日 2019年9月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年4月期第1四半期の業績 (2019年5月1日~2019年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期第1四半期	453	△30.1	△171	—	△174	—	△172	—
2019年4月期第1四半期	648	△16.3	△165	—	△166	—	△181	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期第1四半期	△40.39	—
2019年4月期第1四半期	△42.32	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失額額であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年4月期第1四半期	7,153	4,051	56.6
2019年4月期	7,219	4,266	59.1

(参考) 自己資本 2020年4月期第1四半期 4,051百万円 2019年4月期 4,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年4月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2020年4月期	—	—	—	—	—
2020年4月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2020年4月期の配当予想額は未定であります。

3. 2020年4月期の業績予想 (2019年5月1日~2020年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,200	38.7	11	—	5	—	2	—	0.62
通期	5,600	11.5	220	—	200	—	133	—	31.17

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 配当予想の修正については、本日(2019年9月13日)に公表いたしました「2020年4月期第2四半期累計期間の業績予想のお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年4月期1Q	4,282,800株	2019年4月期	4,282,800株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年4月期1Q	－株	2019年4月期	－株
------------	----	----------	----

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年4月期1Q	4,282,800株	2019年4月期1Q	4,282,491株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期累計期間における我が国経済は、個人消費の持ち直し、企業収益や雇用情勢の改善などが進み、全体として緩やかな回復基調で推移しました。

当社は、事業セグメントを「クリーンエネルギー事業」「スマートホーム事業」「ストック事業」に分けて活動を行っております。

各セグメントの事業環境は下記のとおりであります。

①クリーンエネルギー事業

当社の事業領域に関わるクリーンエネルギー事業につきましては、国内総発電量に占める再生可能エネルギー発電の割合は22～24%とする目標が掲げられ、脱炭素をテーマに「RE100(100%再生可能エネルギーを利用して事業運営を行うことを目標として国際団体)」に加盟する日本企業が増えています。

また、固定価格買取制度(FIT)の変更や未稼働案件に対する運転開始期限設定の義務化等により発電事業者の淘汰が進む一方、稼働中の太陽光発電施設の売買に関する中古市場が形成されつつあり、安定収益が見込める再生可能エネルギー投資への市場は、改めて見直されていく見通しです。

②スマートホーム事業

当社の事業領域に関わる住宅不動産業界におきましては、政府による住宅取得支援策や低水準の住宅ローン金利などを背景に底堅い動きが見られました。

貸家の新設住宅着工戸数が前年より減少したものの、持家・分譲住宅が前年の水準を上回り、全体ではほぼ前年同様となりました。

このような状況のもと、当社は、当事業年度において、当社が主として行うクリーンエネルギー事業、スマートホーム事業、ストック事業へのビジネスモデル転換を進め、フローからストック型への転換により、次の成長につながるビジネスモデルを生み出すことを目指し、各事業を推進しております。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は453,519千円(前年同四半期比30.1%減)、営業損失171,632千円(前年同四半期は営業損失165,319千円)、経常損失174,493千円(前年同四半期は経常損失166,060千円)、四半期純損失172,968千円(前年同四半期は四半期純損失181,250千円)となりました。

なお、当第1四半期会計期間より、報告セグメントの名称と区分を変更しており、当第1四半期累計期間の比較、分析は変更後の名称に基づいております。詳細については、「第4 経理の状況 1 財務諸表等 (1)財務諸表注記事項 セグメント情報等」をご覧ください。

変更後の新報告セグメントの説明は以下のとおりであります。

①「クリーンエネルギー事業」

売電中のクリーンエネルギー発電所を取得、または、自社開発した発電所を運用しながら、発電効率を最大化して販売。

②「スマートホーム事業」

再生が見込めるエリアの用地を取得、当社建設パッケージ商品(スマートホーム)を組み合わせ、居住用不動産として開発。開発した商品をマイホームとして分譲、または、投資用戸建賃貸住宅として販売。

③「ストック事業」

販売したスマートホームやクリーンエネルギー発電所の管理等のフィービジネス。

変更後の新報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

① クリーンエネルギー事業

クリーンエネルギー事業では販売区画数は、3.29区画（セカンダリー3.29区画）となりました。

以上の結果、クリーンエネルギー事業の売上高は90,173千円（前年同四半期比55.5%減）、セグメント損失は61,476千円（前年同四半期はセグメント損失55,504千円）となりました。

② スマートホーム事業

スマートホーム事業では、販売棟数は8棟となりました。

以上の結果、スマートホーム事業の売上高は149,158千円（前年同四半期比45.3%減）、セグメント損失は70,413千円（前年同四半期はセグメント損失294千円）となりました。

③ スtock事業

Stock事業の売上高は214,187千円（前年同四半期比23.7%増）、セグメント利益は44,587千円（前年同四半期はセグメント損失17千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は6,322,690千円(前事業年度末6,323,158千円)となり、468千円減少しました。主な要因は、販売用不動産が203,478千円、製品が574,527千円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が479,234千円、売掛金が324,581千円それぞれ減少したこと等によるものです。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は830,982千円(前事業年度末896,184千円)となり、65,201千円減少しました。主な要因は、投資その他の資産のその他が18,827千円増加した一方で、有形固定資産が87,913千円減少したこと等によるものです。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は2,126,904千円(前事業年度末1,925,851千円)となり、201,053千円増加しました。主な要因は、短期借入金が200,000千円、前受金が124,453千円増加した一方で、買掛金が104,508千円減少したこと等によるものです。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は975,760千円(前事業年度末1,026,709千円)となり、50,948千円減少しました。主な要因は、長期借入金43,284千円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は4,051,007千円(前事業年度末4,266,782千円)となり、215,774千円減少しました。主な要因は、四半期純損失の計上により172,968千円、また、配当金の支払いにより42,828千円、利益剰余金が減少したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年4月期第2四半期累計期間(2019年5月1日～2019年10月31日)の業績予想については、2019年6月14日に公表いたしました業績予想値を修正しております。

詳細については、本日(2019年9月13日)に公表いたしました「2020年4月期第2四半期累計期間の業績予想のお知らせ」をご覧ください。

なお、2020年4月期(2019年5月1日～2020年4月30日)の通期業績予想については変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,039,173	1,559,938
売掛金	541,092	216,510
販売用不動産	909,742	1,113,221
製品	1,096,836	1,671,363
仕掛品	366,950	402,591
材料貯蔵品	131,188	194,802
前渡金	722,274	800,955
その他	515,900	363,306
流動資産合計	6,323,158	6,322,690
固定資産		
有形固定資産	373,810	285,897
無形固定資産	21,144	24,908
投資その他の資産		
その他	511,431	530,259
貸倒引当金	△10,202	△10,082
投資その他の資産合計	501,229	520,176
固定資産合計	896,184	830,982
資産合計	7,219,343	7,153,673
負債の部		
流動負債		
買掛金	379,888	275,380
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	184,227	173,136
短期借入金	800,000	1,000,000
未払法人税等	—	5,417
前受金	201,331	325,785
賞与引当金	25,650	16,180
完成工事補償引当金	12,063	11,716
資産除去債務	11,122	17,321
その他	211,567	201,967
流動負債合計	1,925,851	2,126,904
固定負債		
長期借入金	721,590	678,306
資産除去債務	7,436	1,266
その他	297,682	296,188
固定負債合計	1,026,709	975,760
負債合計	2,952,561	3,102,665

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	979,822	979,822
資本剰余金	949,809	949,809
利益剰余金	2,337,220	2,121,423
株主資本合計	4,266,852	4,051,055
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△70	△47
評価・換算差額等合計	△70	△47
純資産合計	4,266,782	4,051,007
負債純資産合計	7,219,343	7,153,673

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)
売上高	648,695	453,519
売上原価	519,319	326,980
売上総利益	129,375	126,539
販売費及び一般管理費	294,695	298,171
営業損失(△)	△165,319	△171,632
営業外収益		
受取利息	30	87
還付加算金	—	1,415
雑収入	1,113	—
その他	650	288
営業外収益合計	1,794	1,790
営業外費用		
支払利息	2,269	4,137
社債利息	265	263
その他	0	250
営業外費用合計	2,535	4,651
経常損失(△)	△166,060	△174,493
税引前四半期純損失(△)	△166,060	△174,493
法人税、住民税及び事業税	1,262	1,664
法人税等調整額	13,927	△3,189
法人税等合計	15,190	△1,524
四半期純損失(△)	△181,250	△172,968

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。